

地域医療支援の状況

1. 地域医療総合支援センターの設置

本学に「地域医療総合支援センター」を設置。

同センターが地域医療機関からの派遣要請等を一括して受けるとともに学内調整の役割を担い、より効率的で効果的な地域医療支援体制の構築を図っている。

2. 東北大学と連携した地域医療支援体制

東北大学に設置された「新設医学部連携室」と協議のうえ、地域医療機関への医師派遣について、役割分担と適切な人材配置で行われるようルールを制定。

3. 「宮城県医師育成機構」への参画

宮城県内の医師派遣については、本学も本年4月から「宮城県医師育成機構」に正式に参画し、適正な医師配置に関する協力体制をとっている。

【添付資料】①医師派遣の状況「診療応援先一覧」(H28.6.30 現在の実績)

②「宮城県医師育成機構」の概要

○平成28年度 診療応援先一覧

H28.6.30現在

保健所の所管		病院名	先方の診療科 ()内は担当医の附属病院における 担当診療科	頻度・回数	
宮城県	仙南	1	A病院	耳鼻咽喉科	週1回
			A病院	脊椎外来(整形外科)	月1回
			A病院	外来診療(消化器内科)	週1程度
			A病院	内視鏡検査(消化器内科)	週1程度
		2	B病院	腎臓内科外来 (腎臓内分泌内科)	月3~4回
		3	C病院	内科(呼吸器内科)	週1回
		4	D病院	整形外科	週1回
	5	E病院	歯科	月1~2回	
	6	F病院	病理診断科(病理学)	週1回	
	塩釜	1	A病院	外来診療(循環器内科)	月2回
		2	B病院	日当直(消化器外科)	月1程度
		3	C病院	日勤/当直 (リハビリテーション科)	月5回程度
		4	D病院	総合診療科 (リハビリテーション科)	月0~5回
		5	E病院	麻酔科	週1回
				リハビリテーション科	週1回
		6	F病院	外来(循環器内科)	週1回
				循環器内科	
				整形外科	
		7	G病院	内科(循環器内科)	月1回
	循環器内科			週1回	
	大崎	1	A病院	小児科	月1回
		2	B病院	歯科	月2~3回
		3	C病院	消化器科(腫瘍内科)	週1回
	栗原	1	A病院	外科(消化器外科)	月1回
	登米	1	A病院	呼吸器内科	月2回
				当直 (消化器外科、肝胆膵外科)	月1回
				整形外科	週1回
				眼科	週1回
		2	B病院	当直(乳腺・内分泌外科)	月1回
				内科(リハビリテーション科、 呼吸器外科)	月2回 週1回
	2	B病院	内科/当直 (リハビリテーション科)	週1回	
			当直 (総合診療科、消化器外科、 感染制御部)	月2回/期間内1 回/週1回	
	石巻	1	A病院	麻酔科	月1回
外来診療(腎臓内分泌内科)				月2回	
2	B病院	老年内科(総合診療科)	週1回		
気仙沼	1	A病院	呼吸器科(呼吸器外科)	月2回	
			耳鼻咽喉科	月1回 月1~2回程度	
			産婦人科	月1回程度	

保健所の所管			病院名	先方の診療科 ()内は担当医の附属病院における 担当診療科	頻度・回数
宮城県	青葉支所	1	A病院	当直(腎臓内分泌内科)	月2回
		2	B病院	人間ドッグ・健診 (消化器外科、肝胆膵外科)	月1回
		3	C病院	内科(総合診療科)	週1回
		4	D病院	健康診断 (消化器外科、肝胆膵外科)	不定期
		5	E病院	整形外科	週1回
				病理部	週1回
		6	F病院	呼吸器内科	週1回
	7	G病院	内科(腎臓内分泌内科)	月1回	
	宮城野支所	1	A病院	透析診療(腎臓内分泌内科)	月2回
		2	B病院	病理診断科	月1~2回 (不定期)
	若林支所	1	A病院	オーバーナイト透析の管理等 (腎臓内分泌内科)	月1~2回
		2	B病院	消化器内科	週2回
				皮膚科	週1回
			眼科	週1回	
	太白支所	1	A病院	小児科	1回のみ
		2	B病院	血液透析室の回診 (腎臓内分泌内科)	月1回
		3	C病院	整形外科	週1回
		4	D病院	外来診療(循環器内科)	月2~3回
	泉支所	1	A病院	整形外科	月1回
	秋田県		1	A病院	産婦人科
岩手県	1	A病院	外来診療(呼吸器外科)	3回のみ	
	2	B病院	呼吸器外来(呼吸器内科)	-	
	3	C病院	整形外科	不定期	
山形県	1	A病院	歯科	月2回	
	2	B病院	内科(総合診療科)	月4回	
福島県	1	A病院	外科(消化器外科、肝胆膵外科)	週1回	
			整形外科	月2回	
		内科(救急科)			
2	B病院	耳鼻咽喉科	週2回		
東北以外	(東京都)	1	A病院	乳腺専門外来 (乳腺・内分泌内科)	週1回
	(岐阜県)	2	B病院	消化器外科	週1回
	(北海道)	3	C病院	内科・呼吸器科・ 循環器科(総合診療科)	5回のみ

<その他> 〇病院・診療所等以外(非常勤講師等は除く)

宮城県	(若林区)	1	A機関	整形外科	月1~2回
	(泉区)	2	B機関	献血検診業務支援	月1~4回
東京		3	C機関	精神科	週1回

宮城県医師育成機構の概要

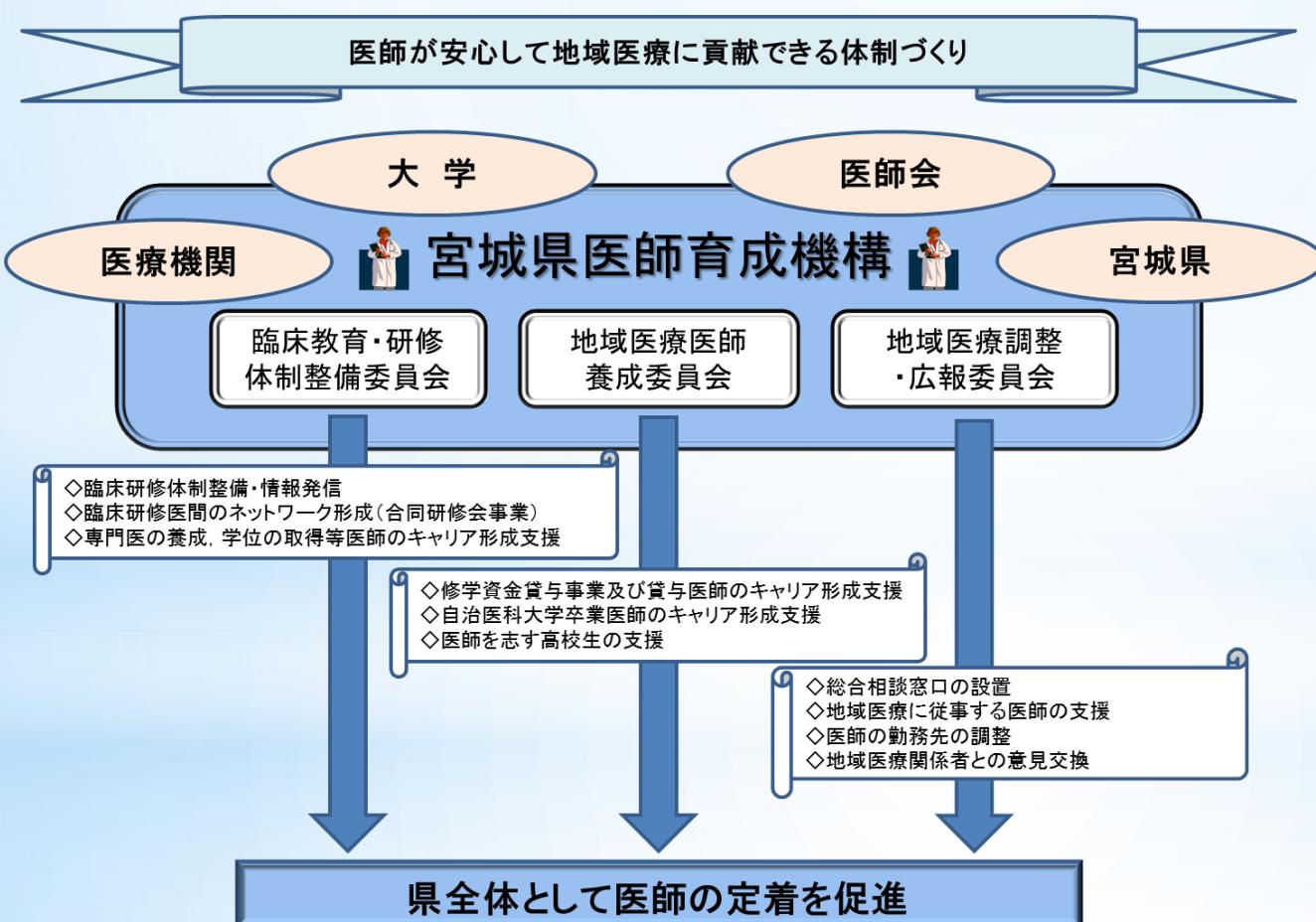
—みやぎの地域医療を支えてくださる医師の皆さまを全力でサポートします！—

◆ 宮城県医師育成機構とは？

医師のキャリア形成支援や臨床研修医同士のネットワーク形成、他県からの医師招へい活動、これから医師を目指す高校生の支援など、幅広い取組みを通じて、医師にとって魅力ある医療環境を構築し、「みやぎの地域医療と、それを支える医師の人生」の充実・共栄を図るため、平成23年2月に発足しました。

大学（東北大学、東北医科薬科大学 ※H28.4～）、医師会、医療機関、宮城県の4者が合同で設置・運営しています。

◆ 機構の組織とミッション



◆ 主な取組

実施時期	取組内容
4月上旬	臨床研修医合同研修会「ウェルカムみやぎ」開催
4月～	医学生修学資金貸付者募集 ↑ H23.2.8の設立総会
5月、12月	短期海外研修の実施（年に2回）
8月	医学生夏季セミナー
10月	第2回臨床研修医合同研修会開催
1月	奨学生の集い
2か月に1回程度	メルマガみやぎ.com 配信
	この他、各種学会、レジナビへのブース出展、医学系雑誌への広告掲載等、さまざまな活動を行っております！



◆ 機構の構成員

【機構役員】

- 理事長 久道 茂（宮城県医療顧問）
 副理事長 嘉数 研二（宮城県医師会会長）
 副理事長 下瀬川 徹（東北大学大学院 医学系研究科長・医学部長）
 理事 八重樫 伸生（東北大学病院長）
 福田 寛（東北医科薬科大学医学部長）
 近藤 丘（東北医科薬科大学病院長）
 永井 幸夫（仙台市医師会会長）
 田所 慶一（仙台医療センター院長）
 並木 健二（大崎市民病院長）
 渡辺 達美（宮城県保健福祉部長）

【臨床教育・研修体制整備委員会】

- 委員長 加賀谷 豊（東北大学大学院医学系研究科 医学教育推進センター教授）
 委員 金田 巖（石巻赤十字病院長）
 吉田 昌弘（大崎市民病院副院長）
 高橋 道長（みやぎ県南中核病院副院長）
 菅野 武（東北大学病院 卒後研修センター助教）

【地域医療医師養成委員会】

- 委員長 石橋 清人（石巻ロイヤル病院長）
 委員 佐藤 和宏（宮城県医師会副会長、船岡今野病院長）
 石井 正（東北大学病院 総合地域医療教育支援部教授）
 田畑 雅央（東北大学病院卒後研修センター 副センター長）
 菅野 武（東北大学病院 卒後研修センター助教）

【地域医療調整・広報委員会】

- 委員長 橋本省（宮城県医師会常任理事、仙台医療センター副院長）
 委員 大浦 敏博（仙台市医師会理事、仙台市立病院副院長）
 阿部 倫明（東北大学病院 総合地域医療教育支援部准教授）
 阿部 正直（宮城県保健福祉部 医師確保対策室長）
 菅野 武（東北大学病院 卒後研修センター助教）

【専任医師】

- 委員 菅野 武（東北大学病院 卒後研修センター助教）

宮城県医師育成機構の取組内容

— 機構は「みやぎの医療」の魅力を高める様々な事業に取り組んでおります！ —

◆ 臨床研修医合同研修会(春のウェルカムみやぎ、秋の合同研修会)

県内の研修医を対象とした研修会を春、秋の年2回開催しております。

平成27年度第2回合同研修会(秋の研修会)では、平成26年度に引き続き、診断の神様と呼ばれるカリフォルニア大学サンフランシスコ校内科教授のローレンス・ティアニー先生をお招きしてケースカンファレンスを行いました。

また、この研修会は、異なる病院の研修医間のネットワーク形成にも役立っております。



平成25年度第2回合同研修会での東北大学遠藤智之先生によるシミュレータを用いた本格的な救急医療実習。このほか東北労災病院の武藤満完先生による症例検討会を行いました。



平成26年度第2回合同研修会「ティアニー先生のケースカンファレンス」“診断の神様”の講義は全て英語で行われました。
※平成27年度も実施。



平成28年度第1回合同研修会「ウェルカムみやぎ」の集合写真。4月から臨床研修を開始する研修医同士が出身大学や研修病院の枠を超えて交流できる機会を作っています。

◆ 短期海外研修

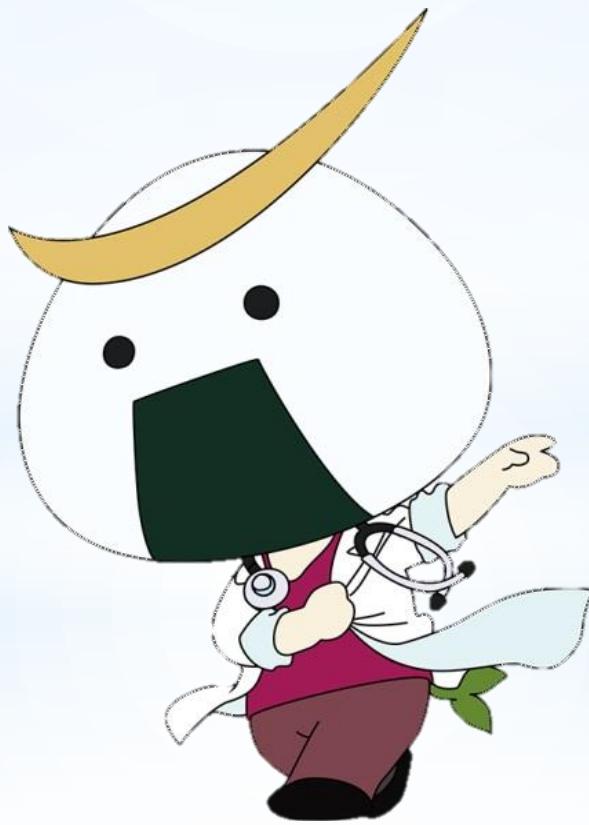
宮城県医師育成機構と東北大学病院では、県内の臨床研修病院で研修中の初期研修医及び後期研修医を対象とした短期海外研修を実施しており、応募者の中から毎回6名程度の参加者を選考によって決定しております。

研修先はアメリカ ニューヨークの①コロンビア大学、②マウントサイナイ医科大学、③地域開業医院 等から1箇所です。

これまで8回、計48名が米国の医療に触れ、グローバルな視点から医療を見つめる貴重な経験をしました。



平成28年度「ウェルカムみやぎ」で短期海外研修に参加した先生から、研修について報告をいただきました。



医師確保PRキャラクター
ドクターむすび丸

◆ 医師募集PR活動

○臨床研修病院合同説明会及び各種学会出展
県内臨床研修病院と共同してPR活動をしているほか、日本プライマリ・ケア連合学会学術大会等へのブース出展を行っております。

○メルマガ「みやぎ医師.COM (ドットコム)」配信
2か月に1回、機構構成員の執筆による「医師として忘れられない思い出」や宮城県の病院や地域情報などを盛り込んで配信しております。

○医学生夏季セミナー
全国の医学生を対象に地域医療の現場に触れ、また医学生同士の交流を深めるために実施しております。H27は18名が参加し、気仙沼市立病院、気仙沼市立本吉病院、公立志津川病院南三陸診療所を訪問しました。

★このほかにも様々な事業を実施中！



レシナヒフフェア2016 東京の様子

◆ 医学生修学資金貸付事業

医学部を卒業後、医師として宮城県の地域医療に従事する意思を有する医学生を対象に、修学資金の貸与事業を行っております。

具体的には、東北大学医学部3年生を対象とする「東北大学枠」、全国の医学部に在籍中の1年生から6年生を対象とする「一般枠」があり、貸与額は東北大学枠が月額10万円、一般枠が月額20万円です。いずれの修学資金も、貸付期間の2倍の期間内に貸与年数と同年数を県が指定する公的医療機関で勤務することにより、返還が免除されます(償還免除)。

なお、貸与者は面接試験による選考によって、地域医療に対する理解や適性などを判断したうえで決定されることになります。

※応募開始までに一部条件の変更を行う場合があります。

区分	応募条件	貸与額	償還免除条件 (東北大学枠・一般枠共通)	指定勤務先	貸付決定者数		
					H25	H26	H27
東北大学枠	東北大学医学部に在籍する3年生	月額10万円	貸付期間の2倍の期間以内に、貸与年数と同じ年数を医師として県が指定する医療機関に勤務する (例：6年間貸与を受けた場合、卒後12年以内に県の指定する医療機関等に通算して6年間勤務すると償還免除となる) ※償還免除条件を満たせない場合には貸付額に年利10%の利息を付して一括返還)	医師不足と認められる地域にある医療機関で知事が指定する施設、東北大学大学院及び東北大学病院(ただし通算24ヵ月間を上限とする。なお東北大学病院初期研修の地域医療重点プログラム選択者は最大40ヵ月間)	—	6	1
一般枠	全国の医学部に在籍する医学生	月額20万円	同上	医師不足と認められる地域にある医療機関で知事が指定する施設及び東北大学病院(大学1・2年次に貸付決定となった者が、初期研修の地域医療重点プログラムを選択した場合のみ16ヵ月を上限に通算)	14	30	25